

令和5年決算審査特別委員会
代表質問日程表

質 問 日	会 派 名	質 問 者	
9月15日(金) 午前	公明党	1	近藤 隆行 議員
	新風つばめ	2	稲村 隆行 議員

※質問方式は、一括方式です

令和4年決算審査特別委員会「代表質問表」

発言の順序	会派名 (質問者)	質問項目 (大項目)	質問要旨 (中項目)	具体的な内容 (小項目)
1	公明党 (近藤 隆行)	1. 第2次総合計画の総括について	(1) 3つの人口増戦略について、と戦略4について	①「戦略1 定住人口増戦略」の成果と課題について。 ②「戦略2 活動人口増戦略」の成果と課題について。 ③「戦略3 交流・応援（燕）人口増戦略」の成果と課題について。 ④「戦略4 人口増戦略を支える都市環境の整備」の成果と課題について伺います。
		2. 令和4年度特別事業・大河津分水通水100周年事業について	(1) 令和4年度特別事業・大河津分水通水100周年事業について	①大規模な記念事業にも関わらず執行率が87%、不用額が1,000万円と残した理由を伺います。 ②1年を通して事業を展開し、次の100年へ「先人から学ぶ・分水路の恵み・これらにつなぐ」をタイトルにした30の事業を開催したが、つなげることができたのか、成果と課題を伺います。
		3. ふるさと燕応援寄付金について	(1) 自主財源の拡大について	①市税とともに、貴重な自主財源となっているふるさと燕応援寄付金は、自治体クラウドファンディングを含めると前年度よりも10億5,154万円増の54億9,496万円となった。 財政当局として、全国の多くの方から寄付をいただくことへの感謝の思いとともに、不安定要素の高いこの自主財源をどのようにとらえているのか伺います。 ②ふるさと燕応援寄付金をさらに多くの方から支援して頂く工夫は必要だが、これだけに依存せず、新たな自主財源確保のための対策を講じる必要があると思うが、当局の見解を伺います。
2	新風つばめ (稲村 隆行)	1. 令和4年度の重点施策について	(1) 大河津分水通水100周年事業について	令和4年度は大河津分水通水100周年の年ということで、大河津分水建設の意義や果たしてきた役割、先人の情熱、苦労、功績の発信のために、総事業費約6,700万円をかけて、大河津分水通水100周年記念花火大会等の各種イベントやメディアを活用したプロモーションなど、30以上に及ぶ様々な事業を展開してきました。 大河津分水通水100周年事業は、令和4年度の特別事業として、3つの重点施策と並ぶ重要な事業と位置づけられ、大きな予算がかけられましたが、歳入歳出決算書、決算概要、事務報告書からは、この事業を実施したことで具体的にどういった成果があったのか、読み取ることができません。 燕市が「日本一輝いているまち」になっていくためにも、この重要な事業について、しっかりと検証し、今後に活かしていく必要があります。 ①大河津分水通水100周年事業を実施し、どのような課題があったか伺います。 ②大河津分水通水100周年事業の具体的な成果についてお伺いいたします。

(次ページへ続く)

発言 の 順序	会派名 (質問者)	質問項目 (大項目)	質問要旨 (中項目)	具 体 的 な 内 容 (小 項 目)
2	新風 つばめ (稲村 隆行)	2. 燕市の人口減少対策について	(1)定住人口増戦略について	<p>人口減少は地方自治体において深刻な課題となっております。</p> <p>令和4年度の燕市の人口減少対策は、定住人口増戦略、活動人口増戦略、交流・応援（燕）人口増戦略の3つを大きな柱に据えて展開されてきました。</p> <p>活動人口増戦略の中では、燕市役所まちあそび部が令和4年度ふるさとづくり大賞を受賞し、交流・応援（燕）人口増戦略では、2022年度ふるさと納税の寄付額が約55億円、クラウドファンディングも約12億5,000万円と、素晴らしい成果が得られたと思います。</p> <p>そうした中で、定住人口増戦略は、つばめ移住定住促進事業やフェニックスクーポン、感染症対策など多岐にわたり、主要な事業だけで47億円以上と市の年間予算の10%以上を占め、3つの人口減少対策の中で最も大きな規模で展開されてきました。</p> <p>限られた経営資源を効率的、効果的に配分するためにも、こちらについてもしっかりと検証する必要があります。</p> <p>①定住人口増戦略の具体的な成果についてお伺いいたします。</p>